



ーSDGsの前に私たちが知っておかなければならないことー

これまで世界の多くの国では、資本主義のもと、経済的な豊かさを追求してきました。その限界が見え始めた矢先、世界は温暖化やコロナ禍に見舞われ、貧富の差がより明らかになっています。

例えば、国、企業から個人に至るまで熱心に取り組まれているSDGsですが、まじめに取り組めば世界中の人が等しく生きていける社会になるのかという疑問をもつことはとても大切です。そもそもSDGsが「運動」だと意識して取り組んでいる人はどれだけいるのでしょうか。こういった国際協力の取り組みを「運動」にしていくことで、個々人の努力は何倍もの成果につながるようになります。

このセミナーでは、まず、国際協力を行ううえでの運動のしくみを理解していただきます。そして、1948年以來、働く人たちの社会運動を支えてきた国際経済労働研究所が、「運動」をより効果的に進めるために行っている「調査運動」について紹介します。

国際協力をより意味のある、本質的なものにしていくためのコツ、それが「調査運動」です。1人でも多くの方が「調査運動」にかかわることで、世界はきっと変えられる。あなたもその一歩を踏み出してください。

2022年1月29日（土）13:30～15:00（受付13:00）

■参加対象：国際協力に興味のある学生・社会人の方なら、どなたでもご参加いただけます。

■費用：（セミナー開発中のため今回のみ）無料

※本セミナーは開発中です。セミナー後、アンケート（2～3分）にご協力ください。

■定員：20名

■参加申込：研究所ウェブサイトの申し込みフォームよりお申し込みください。

スピーカー：吉浜 智美

（公社）国際経済労働研究所 労働・政治研究事業部 研究員。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程、ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ（UCL）国際公共政策コース修士課程修了。2004年より現職。民間シンクタンクの勤務経験あり。

主催・お問合せ：（公社）国際経済労働研究所 国際協力研究事業部 準備室

TEL: 03-6721-6730 E-mail: yoshihama@iewri.or.jp

